



2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」	教員氏名	久保 小枝子
学年	1年	開講学期	前期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修	実務経験	幼稚園教諭 26年
テーマ	保育内容「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ		
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	幼稚園教諭、子育て支援者の経験をもとに、言葉の発達過程において、乳幼児が言葉の意義と機能をどのように理解していくか、事例を用いながら解説する。「言葉による伝え合い」や「文字の意味や役割」を取り上げ、映像資料や事例を通して講義する。また、手遊び、童謡、なぞなぞ等、言葉の感覚を豊かにする言葉遊びを体験するとともに、言葉遊びと乳幼児の言葉の発達との関連を考える機会を設ける。絵本、お話、紙芝居などの児童文化財の意義を考える機会を設けるとともに、実際に読んだり演じたりすることで、保育への取り入れ方を具体的に話し合う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義や機能について理解する。 言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を豊かにする実践について基礎的な知識を身に付け、乳幼児の発達の姿と合わせて説明できる。 乳幼児にとっての児童文化財(絵本・お話・紙芝居)の意義を理解し、基礎的な知識を身に付ける。 		
テキスト	浅見均編著『子どもの育ちを支える子どもと言葉』大学図書出版		
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
課題の確認と成績評価方法	小テストと提出課題70%、授業態度と意欲30%		





授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション) 保育内容「言葉」とは
	授業外指示	テキストp.3～8を読む
第2回	テーマ 内容	言葉とは何か
	授業外指示	テキストp.10～23を読む
第3回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達
	授業外指示	テキストp.48～53を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第4回	テーマ 内容	保育内容領域「言葉」とは
	授業外指示	テキストp.64～72を読む 授業後は、要点をノートにまとめる
第5回	テーマ 内容	生活体験と言葉
	授業外指示	テキストp.74～83を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第6回	テーマ 内容	遊びと言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	テキストp.84～95を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第7回	テーマ 内容	感動体験と言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	テキストp.96～107を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉①「童歌」「童謡」「手遊び」
	授業外指示	テキストp.108～110を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第9回	テーマ 内容	児童文化と言葉②「お話」「絵本」「紙芝居」
	授業外指示	テキストp.110～119を読む 授業後は、要点をノートをまとめる 0～5歳児までの発達に添った「手遊び」「絵本」リストを作成する





第10回	テーマ 内容	文字との出会い
	授業外指示	テキストp.130～141を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第11回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉(アクティブラーニング:グループワーク)
	授業外指示	テキストp.142～151を読む 授業後は、自分の考えをノートをまとめる
第12回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども
	授業外指示	テキストp.152～161を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第13回	テーマ 内容	幼児教育と小学校教育との接続と言葉
	授業外指示	テキストp.162～171を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第14回	テーマ 内容	乳幼児期の言葉の課題
	授業外指示	テキストp.172～181を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第15回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る 自分の保育観、子ども観を振り返りつつ、学びを整理する
	授業外指示	総復習





2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」	教員氏名	上田よう子
学年	1年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修	実務経験	保育士 12年
テーマ	保育内容「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ		
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	幼稚園教諭として幼稚園に勤務。実務経験をもとに、言葉の発達過程において、乳幼児が言葉の意義と機能をどのように理解していくか、事例を用いながら解説する。「言葉による伝え合い」や「文字の意味や役割」を取り上げ、映像資料や事例を通して講義する。また、手遊び、童謡、なぞなぞ等、言葉の感覚を豊かにする言葉遊びを体験するとともに、言葉遊びと乳幼児の言葉の発達との関連を考える機会を設ける。絵本、お話、紙芝居などの児童文化財の意義を考える機会を設けるとともに、実際に読みだり演じたりすることで、保育への取り入れ方を具体的に話し合う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義や機能について理解する。 2. 言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする実践について基礎的な知識を身に付け、乳幼児の発達の姿と合わせて説明できる。 3. 乳幼児にとっての児童文化財(絵本・お話・紙芝居)の意義を理解し、基礎的な知識を身に付ける。 		
テキスト	浅見均編著『子どもの育ちを支える子どもと言葉』大学図書出版		
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
課題の確認と成績評価方法	小テストと提出課題70%、授業態度と意欲30%		





授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション) 保育内容「言葉」とは
	授業外指示	テキストp.3～8を読む
第2回	テーマ 内容	言葉とは何か
	授業外指示	テキストp.10～23を読む
第3回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達
	授業外指示	テキストp.48～53を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第4回	テーマ 内容	保育内容領域「言葉」とは
	授業外指示	テキストp.64～72を読む 授業後は、要点をノートにまとめる
第5回	テーマ 内容	生活体験と言葉
	授業外指示	テキストp.74～83を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第6回	テーマ 内容	遊びと言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	テキストp.84～95を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第7回	テーマ 内容	感動体験と言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	テキストp.96～107を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉①「童歌」「童謡」「手遊び」
	授業外指示	テキストp.108～110を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第9回	テーマ 内容	児童文化と言葉②「お話」「絵本」「紙芝居」
	授業外指示	テキストp.110～119を読む 授業後は、要点をノートをまとめる 0～5歳児までの発達に添った「手遊び」「絵本」リストを作成する





第10回	テーマ 内容	文字との出会い
	授業外指示	テキストp.130～141を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第11回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉(アクティブラーニング:グループワーク)
	授業外指示	テキストp.142～151を読む 授業後は、自分の考えをノートをまとめる
第12回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども
	授業外指示	テキストp.152～161を読む 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第13回	テーマ 内容	幼児教育と小学校教育との接続と言葉
	授業外指示	テキストp.162～171を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第14回	テーマ 内容	乳幼児期の言葉の課題
	授業外指示	テキストp.172～181を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第15回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る 自分の保育観、子ども観を振り返りつつ、学びを整理する
	授業外指示	総復習



2019年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」	教員氏名	坂本 喜一郎
学年	1年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士・幼免必修	実務経験	幼稚園教諭 2年
テーマ	保育内容「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ		
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	幼稚園教諭及び保育園園長等として保育及び教育現場に勤務。実務経験をもとに、言葉の発達過程において、乳幼児が言葉の意義と機能をどのように理解していくか、事例を用いながら解説する。「言葉による伝え合い」や「文字の意味や役割」を取り上げ、映像資料や事例を通して講義する。また、手遊び、童謡、などなど、言葉の感覚を豊かにする言葉遊びを体験するとともに、言葉遊びと乳幼児の言葉の発達との関連を考える機会を設ける。絵本、お話、紙芝居などの児童文化財の意義を考える機会を設けるとともに、実際に読んだり演じたりすることで、保育への取り入れ方を具体的に話し合う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義や機能について理解する。 2. 言葉の楽しさや美しさに気づき、言葉を豊かにする実践について基礎的な知識を身に付け、乳幼児の発達の姿と合わせて説明できる。 3. 乳幼児にとっての児童文化財(絵本・お話・紙芝居)の意義を理解し、基礎的な知識を身に付ける。 		
テキスト	なし		
参考書	「保育所保育指針解説」「幼稚園教育要領解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		
プリント	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
課題の確認と成績評価方法	小テストと提出課題70%、授業態度と意欲30%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション) 保育内容「言葉」とは
	授業外指示	「保育所保育指針解説」及び「幼稚園教育要領解説」を読む
第2回	テーマ 内容	言葉とは何か
	授業外指示	「保育所保育指針解説」及び「幼稚園教育要領解説」を読む
第3回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達
	授業外指示	「保育所保育指針解説」及び「幼稚園教育要領解説」を読む 授業後は、要点をノートをまとめる
第4回	テーマ 内容	保育内容領域「言葉」とは
	授業外指示	「保育所保育指針解説」及び「幼稚園教育要領解説」を読む 授業後は、要点をノートにまとめる
第5回	テーマ 内容	生活体験と言葉
	授業外指示	生活体験と言葉の関係について、自分の乳幼児期を振り返る 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第6回	テーマ 内容	遊びと言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	遊びと言葉の関係について、自分の乳幼児期を振り返る 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第7回	テーマ 内容	感動体験と言葉(アクティブラーニング:ディベート)
	授業外指示	感動体験と言葉の関係について、自分の乳幼児期を振り返る 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉①「童歌」「童謡」「手遊び」
	授業外指示	0～5歳児までの発達に添った「童謡」「手遊び」等のリストを作成する 授業後は、要点をノートをまとめる
第9回	テーマ 内容	児童文化と言葉②「お話」「絵本」「紙芝居」
	授業外指示	0～5歳児までの発達に添った「絵本」「紙芝居」等のリストを作成する 授業後は、絵本や紙芝居等の特性等について整理する

第10回	テーマ 内容	文字との出会い
	授業外指示	自分の幼少期を参考に、文字との出会いを整理する 授業後は、要点をノートをまとめる
第11回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉(アクティブラーニング:グループワーク)
	授業外指示	「保育所保育指針解説」及び「幼稚園教育要領解説」を読む 授業後は、自分の考えをノートをまとめる
第12回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども
	授業外指示	言葉のかかわりに配慮を要する子どもに関する研究事例について整理する 授業後は、自分の考えをノートにまとめる
第13回	テーマ 内容	幼児教育と小学校教育との接続と言葉
	授業外指示	幼児教育における言葉の獲得のためのふさわしい経験について整理する 授業後は、要点をノートをまとめる
第14回	テーマ 内容	乳幼児期の言葉の課題
	授業外指示	乳幼児期の言葉の課題について、自分の経験を振り返りながら整理する 授業後は、要点をノートをまとめる
第15回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る 自分の保育観、子ども観を振り返りつつ、学びを整理する
	授業外指示	総復習